

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	脂肪腫と高分化型脂肪肉腫の細胞診標本による鑑別の試み
	研究目的	脂肪肉腫は軟部肉腫の中で最も多くみられる肉腫である。高分化型脂肪肉腫は良性軟部腫瘍の一つである脂肪腫と病理組織学的に鑑別が困難な場合がある。この両腫瘍を鑑別する組織所見として、異型間質細胞の有無や成熟脂肪細胞の核異型、線維間質の細胞密度が挙げられる。今までは組織標本を用いてこれらの所見を評価し鑑別診断を行っていたが、細胞形態評価に優れている細胞診標本を用いた細胞異型評価が、これらの腫瘍の鑑別診断に有用であるか否かを検討する。
	研究対象者	2019~2021年に神奈川県立がんセンターで手術を受け、脂肪腫、異型脂肪腫様腫瘍、高分化型脂肪肉腫と診断された症例。
	研究期間	西暦 2020年5月18日 ~ 西暦 2022年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	鷲見公太
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科・臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし